

指定校番号	31034	学級活動	生徒会活動	<input type="radio"/> 学校行事	別紙様式2
-------	-------	------	-------	----------------------------	-------

令和元年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	三原市立宮浦中学校	校長	西田 光也	生徒指導主事	池田 義和
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名 『ふれあい奉仕活動』					
取組における育てたい資質・能力					
人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「公共性」	2	「自己有用感」	3
取組のねらい					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者・地域の人との交流を通して、適切な挨拶や会話の仕方などの基本的な生活技術やコミュニケーション能力を身に付ける。</li> <li>・マナーやモラルなどの社会規範を身に付ける。</li> <li>・地域での人間関係の希薄さを払拭し、生徒の健全育成の環境を整える。</li> </ul>					
取組の具体的内容			取組の創意工夫 『表現活動』		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内居住の大人と共にゴミや空き缶拾い等の奉仕活動を行う。</li> <li>・生徒と保護者・地域の人2人1組を原則として、それぞれビニール袋をもって、空き缶等のゴミを収集する。</li> <li>・収集した物は集合場所近くのゴミステーションに置く。保護者・地域の方が持ち寄ったアルミ缶についてはリサイクル活動のため別にして、学校に持ち帰る。</li> <li>・活動範囲はそれぞれの集合場所を起点として居住区（地区）内の道路・溝などを中心に行う。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催にあたり、各地区の町内会長、自治会長、民生児童委員など、学校に関わりある方に案内やお礼の手紙などを生徒の代表が届けに行く。</li> <li>・地区会や当日の司会進行も生徒主体で運営する。</li> </ul>		
					
取組の成果と課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・この活動を契機として、ボランティア活動など、地域貢献に参加してみたいと回答する生徒が97%となり、その後も地域のボランティア活動に多くの生徒が主体的に参加している。</li> <li>・98.1%の生徒が、他人任せ・大人任せにせず積極的に活動できたと自己評価している。</li> <li>・取組が始まって15年くらいになるが、この始まった経緯の伝承や地域の方の参加率が課題。</li> </ul>					